

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2025年1月24日

【事業年度】 第23期（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

【会社名】 株式会社ウェッジホールディングス

【英訳名】 Wedge Holdings CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 此下 竜矢

【本店の所在の場所】 東京都江東区南砂二丁目36番10号 光陽ビル

【電話番号】 03-6225-2161

【事務連絡者氏名】 開示担当 小竹 康博

【最寄りの連絡場所】 東京都江東区南砂二丁目36番10号 光陽ビル

【電話番号】 03-6225-2161

【事務連絡者氏名】 開示担当 小竹 康博

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番地)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2024年12月27日に提出いたしました第23期（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(4) 発行済株式総数、資本金等の推移

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

(訂正前)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2023年6月5日 (注)1	700,000	36,494,478	34,650	4,042,542	34,650	3,565,245
2023年4月1日～ 2023年9月30日(注)2	6,000,000	42,494,478	335,694	4,378,237	335,694	3,900,940

(注)1 有償第三者割当 発行価格99円 資本組入額49.5円

割当先 Long Corridor Alpha Opportunities Master Fund、MAP246 Segregated Portfolio

2. 新株予約権の行使による増加であります。

(訂正後)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2023年6月5日 (注)1	700,000	36,494,478	34,650	4,042,542	34,650	3,565,245
2023年4月1日～ 2023年9月30日(注)2	6,000,000	42,494,478	335,694	4,378,237	335,694	3,900,940

(注)1 有償第三者割当 発行価格99円 資本組入額49.5円

割当先 Long Corridor Alpha Opportunities Master Fund、MAP246 Segregated Portfolio

2. 新株予約権の行使による増加であります。

3. 当社は2024年5月24日開催の取締役会において、2023年5月17日付「第三者割当による新株式及び新株予約権（行使価額修正条項付）の発行に関するお知らせ」において開示いたしました「調達する資金の具体的用途」の資金用途及び支出予定時期を変更することを決議いたしました。

2023年5月17日にお知らせした調達する資金の具体的用途

具体的用途	金額（百万円）	支出予定時期
コンテンツ版権の獲得	250	2023年6月～2024年5月
リゾート事業設備投資	290	2023年6月～2023年7月
旅行事業参入の初期費用	50	2023年7月～2024年12月
運転資金	48	2023年10月～2023年12月

2024年5月24日にお知らせした資金用途変更計画

具体的用途	金額(百万円)	支出予定時期
コンテンツ版権の獲得	93	2023年6月～2025年12月
リゾート事業設備投資	74	2023年6月～2025年10月
旅行事業参入の初期費用	50	2023年7月～2024年12月
運転資金	109	2023年10月～2024年12月
親会社への貸付金	383	2023年6月～2024年3月

なお、コンテンツ版権の獲得は時間がかかっていること、 リゾート事業設備投資はホテルの稼働率が高く休業が困難なことから、資金の待機時間が長期化しているため、 親会社への貸付金として余資活用を行うことといたしました。親会社から貸付金を回収した後の最終的な資金用途は次のとおりです。

具体的用途	金額(百万円)	支出予定時期
コンテンツ版権の獲得	250	2023年6月～2025年12月
リゾート事業設備投資	290	2023年6月～2025年10月
旅行事業参入の初期費用	50	2023年7月～2024年12月
運転資金	119	2023年12月～2024年12月